



働き方改革が必要なのは
自公政権だ。総辞職を！

コスト比較なく実施設計 学校エアコン事業で問題発覚

一人の市民が学校のエアコン工事について、税金の無駄遣いはないのか問題提起し精査している。そのさなか、野田市のホームページに12日、「小学校及び幼稚園空調設備設置工事設計業務についてのお詫び」が掲載された。

内容は実施された小学校と幼稚園のエアコン設置事業で、「設計業務委託について、手続き上の問題があることが」、「市民の情報開示請求に応じるための準備過程で判明し」というものである。

つまり、電気式やガス方式のコスト比較を各学校、幼稚園ごとに行うとの仕様書を無視して、前年度の中学校のエアコン事業の経験

市ガス方式で、それ以外は電気式として実施設計を始め、コスト比較は別途行ったというもの。

コスト比較の結果は間違いがな

市議選は多数激戦必至

11日に開かれた市議会議員立候補予定者説明会には39陣営が参加した。定数は28であり、10人程度のオーバーという近年にない多数激戦になりそうだ。

動きの鈍かった各予定候補者陣営の動きも活発化しており、来月20日告示、27日投開

かったというが、仕様書のとおりに行わなかったにもかかわらず、議会や市民に間違った説明をしていたというお詫びとなっている。

この問題でおさなみ議員が担当部課長にヒアリングを行い、疑問点をただしたが、今後のいっそうの解明が待たれる。

票に向けて低調だった運動は加速されよう。



新社会党は14、15日の両日、都内で第23回提起大会を開催。安倍内閣退陣・9条改憲阻止等の運動を強め、社会保障再強化を求める運動方針を意思統一した。写真はおさなみ書記長。

5月14日午後、国会前に約5万人が押しかけ、一人の青年がバリケードを倒したことがきっかけで正門前の車道を参加者が埋め尽くし、「安倍はやめろ」「総辞職」の地鳴りのようなコールが続いた。photo by h.tahara

